

災害図上訓練

災害図上訓練(DIG訓練)について、小松島市(市民安全課、消防課)の指導のもと、班別に分かれて検討しました。

訓練としては、小松島市周辺の大きな地図を用い、南海トラフを震源とする大規模な地震・津波が発生する事態を想定し、地図上で避難場所を探し、安全が確保できる避難ルートを検討しました。

各班で議論する中、避難に際して橋の損壊や道路の液状化により避難が困難となる事、住宅密集地では倒壊や火災で通行が困難な事などいろいろな意見が出てきました。

また、基本的には徒歩による避難を前提としていることから、①津波襲来時間までに避難が可能な施設がどこにあるか、②想定している避難場所までルートが寸断された場合、代替となる避難場所は他にあるかが検討する上で重要なことであると訓練を通じて理解してもらいました。



各班による訓練実施状況



検討結果の発表

訓練成果と主要な意見

今回の訓練では例年同様、地元の自主防災組織や小松島高等学校に参加いただきみなとオアシス周辺の地域の方々に密着した形で防災訓練を実施いたしました。なお、過去においては、「浮棧橋を利用した小型船による海上輸送訓練」や「緑地のオープンスペースでの炊き出し訓練」など、災害時のみなとオアシス周辺施設の有効性を検証しております。防災に関しては、防災に活用できる施設があるだけでは何の役にも立たず、その周辺にいる方々の活動が伴って、初めて効果が発揮できるものです。

今回、各行政組織並びに地元で活動する自主防災組織や高等学校など地域の住民に参加いただくことにより、周辺住民の防災意識向上、今後の防災活動に役立ったのではないのでしょうか。

災害時には、訓練以上の行動は、なかなか期待できません。地域の防災・減災には、出来ることから1つずつ行っていく地道な訓練の継続が重要です。

発行：小松島みなとまちづくり協議会

(平成25年度事務局：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 TEL：0885-32-3357)